事例No.	1382
公表年度	R3
団体の属性	特別区
団体名	東京都中央区

事例区分	一般行政

タグ	・公共施設活用 ・消防・防災 ・組織改革

事例種類	森林整備　自治体間連携

事例内容・タイトル

地球温暖化対策推進事業「中央区の森」

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

森林整備
自治体間連携

東京都　中央区（地球温暖化対策推進事業「中央区の森」）

- 中央区では、行政区域を越えた広域的視点から地球温暖化防止に寄与する事業として、二酸化炭素の吸収源となる森林を荒廃から守り、育てるため「中央区の森」事業を実施している。
- 令和２年度は、新協定地において現況調査を実施し、森林保全計画を策定したことにより、令和３年度以降の新たな森林整備箇所の把握につなげた。また、以下の取組により、4.36haの間伐、4.49haの下刈等を実施した。
  - 「中央区の森（数馬地区）」において、間伐等の森林保全活動を支援した。
  - 「中央区の森（南郷地区）」及び「中央区の森（矢沢地区）」において、案内板等にも活用する間伐等の森林保全活動を実施した。

□ 事業内容

1　新協定地における現況調査及び森林保全計画の策定

東京都檜原村の村有林4.6haにおいて、新たな森林保全整備に関する協定を締結し、令和３年度の整備に向けて現況調査を行い、森林保全計画を策定した。

【事　業　費】5,500千円（全額譲与税）

2　森林保全活動

- 檜原村数馬地区において、地元ＮＰＯ法人が実施する森林保全活動を支援した。
- 檜原村南郷地区、矢沢地区の協定締結林において、針葉樹林から広葉樹林に転換することを目指し、間伐等の森林整備を行った。

【事　業　費】19,967千円（うち譲与税6,387千円）

【実　　績】間伐4.36ha、下刈4.49ha



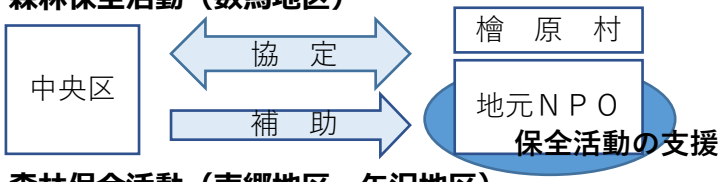
（事業２：間伐の様子）



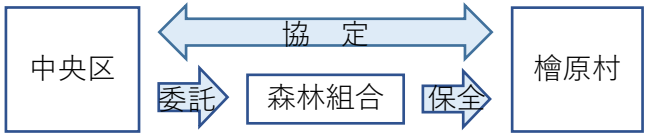
（事業２：林内歩道改修の様子）

□ 事業スキーム

2　森林保全活動（数馬地区）



2　森林保全活動（南郷地区・矢沢地区）



□ 工夫・留意した点

- 矢沢地区において整備により発生した間伐材については、「中央区の森」に設置する案内板等に活用する。

◇ 基礎データ

①令和２年度譲与額	15,266千円
②私有林人工林面積（※１）	0ha
③林野率（※２）	0%
④人口（※３）	141,183人
⑤林業就業者数（※３）	37人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より